

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 1 ) 会 場 ( 001 )

司会者名 ( 高橋 ) 記録者名 ( 江藤 ) 参加者数 ( 4名 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
① 役員の後任問題について	○積極的に役員になってくれる保護者がいない。毎年同じ保護者が役員をやっている。	○PTAは大変というイメージがついているので厳しい状況 ・PTAの活動を積極的に伝える。 (負担がない話をさせてもらう)
② PTAの活動について	○副会長の時に思っていたことを会長になってから実現することができた。	○ボーイスカウトを呼んで防災訓練を行うことができた。
③ PTAの加入について	○役員の話をするとう加入したくないということがあった。	○近年ではなかったヤングケアラー問題もあるので保護者の方としっかり話し合う。 もちろん、学校の協力も必要だと思う。

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 2 ) 会場 ( 101研修室 前 )

司会者名 ( 北村 一美 ) 記録者名 ( 後藤 哲也 ) 参加者数 ( 6 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
① PTAの組織運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模校では特にPTAの組織運営が難しくなっている。役員の手が足りない、または先生が勤務時間内にPTA活動をしないう所もある。</li> <li>・PTAの役員決めが難航する。単Pには入るが、市Pや県Pには入らなければならないのかという意見も聞く。</li> <li>・加入者が減少すると、活動資金や会費の問題もある。活動自体が縮小している。</li> <li>・入学説明会で会長が丁寧に説明を行うこともあり、加入率が維持できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務時間内に教職員がPTA活動ができないという話を聞く。文部科学省の資料の中で、教員の公務の中にPTAの記載もある。国や県が明確に示してもらいたい。</li> <li>・今日の研修会の中でも出た。今日の研修をもとに各会長が説明できるようにすることが大切。選考委員を立ち上げている学校もあるが、個人情報の関係で会員名簿がもらえず、選考が難しい事もある。</li> <li>・資金が不足しても学校運営協議会などと協力して、活動を行っている所もある。</li> <li>・PTAの活動の見直しや部会をなくす学校もある。小規模の学校では、組織運営が大変だが、その分繋がりは強い。</li> </ul>
② SNSの取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちのSNSの長時間使用が問題となっている。中学校では、SNSで知り合った人と遊びに行くなど、珍しくない。</li> <li>・SNSを利用する年齢も下がってきており、ゲームなども含め、人とのコミュニケーションが希薄になっている。また睡眠時間の減少などがみられる。保護者も忙しく、いつも見ているわけにはいかない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSの使用については、学校での注意喚起だけでは限界がある。保護者がしっかり指導や制限などを行う必要があるが、保護者がスマホなどいつも扱っているので説得力がない。</li> <li>・子どもがゲームで課金してしまい、多額の請求があった。その時は、ゲーム会社が不振に思い、対処してくれ支払いはせずに済んだ。それをきっかけにゲーム会社がオンライン研修をしてくれた。</li> <li>・子どもとのルールはスマホを使い始める前に決めておくべき。途中でルールを作っても聞かない。</li> </ul>

<p>③ 防災について</p>	<p>・大雨での災害が増えている。避難所になっている学校も多いが、学校が危険地域になっている所もある。</p>	<p>・避難所になっている学校は、空調がない、非常用物資を置いていない学校も多い。改めて防災について行政や地域を含め考えていく必要があるのではないか。</p> <p>・備蓄は自治会でしている所が多い。学校単位では置いていないところが多いのではないか。行政とも連携していく必要がある。</p> <p>・引き渡し訓練を行っている学校もあるが、実際に災害が起きた時の対応をもっと訓練したほうがいい。</p>
<p>④ 不登校について</p>	<p>・大分県は不登校の生徒や児童が多いと聞く。学校の統合などで、小規模の小学校から大人数の学校に行き、なじめない子もいる。</p>	<p>・玖珠町に学びの多様化学校が開校した。応募が多いようだ。</p> <p>・学校にいけない子供の社会とのつながりを考えていく必要がある。学校には行かないが子ども食堂には行くなどの事例もある。学校に行けなくても地域との繋がりが継続できるような取り組みも必要。</p>
<p>⑤ P T A 活動の取り組みについて</p>	<p>P T A の活動で各学校の取り組みを知りたい。</p>	<p>・学校で呼びかけ、「ちょいぼら」の活動で学校のトイレ掃除や窓ふきなどを行っている。</p> <p>・おやじの会で草刈りや懇親会などを行っている。おやじの会に母親も入っている。</p> <p>・コサージュ作りなどを行っている。非会員の子供も一緒に行う。資金の面で今後どうするか検討中。</p>

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 4 ) 会 場 ( 102 研修室 )  
 司会者名 ( 伊藤康輔 ) 記録者名 ( 本田郁之 ) 参加者数 ( 8人 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
① 単P会長など役員選出の問題	<p>○例年、時期役員を選出する際に時間がかかるなどの問題が多い。 単P会長への負担が集中しているなどが理由ではないだろうか</p> <p>○次期会長を選ぶ過程が単Pごとに異なっている。</p>	<p>○単P会長として出席する行政の会議などは、副会長などに代理出席してもらっている人も多かった。 ○そもそも、出られるものしか出席しない(仕事の都合で欠席)会議も多い。 ○単Pの評議委員会や、郡市Pの会議などを夜実施するので、参加しやすいという郡市も多かった。ただ、夜の会議となると校長先生次第では、教職員の出席がむずかしくなっているという意見も聞かれた。</p> <p>○選考委員などを設けている単Pもあるが、選考が難しく、選考委員が自ら会長をすることになった、という意見もあった。 ○副課長から、翌年会長になるという単Pもあったが、心の準備と、自分が会長になったとき、どのような活動をしたいか考えることができるので良かった、という意見もあった。 ○何もわからず会長になったという人もいて、何が分からないかが分からない、という状況の会長もいたが、今日の研修で色々聞くことができたので良かったという意見もあった。</p>
② 地域との連携ボランティア募集について	<p>○PTA会員以外の地域の人などを、学校活動のボランティアとして集める仕組みがあると良いのではないだろうか。</p>	<p>○コミュニティスクールへの対応や、PTA加入率の低下による会員の減少に対応するため、ボランティア募集の仕組みは作った方がいいという意見もあった。 ○地域によっては、広域で通学してくる児童が多い単Pもあり、地域の人を呼ぶと広範囲になって難しいという意見もあった。</p>

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 5 ) 会 場 ( 応接室 )

司会者名 ( 山田会長 ) 記録者名 ( 手柴 ) 参加者数 ( 5名 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
③地域社会との連携について	豊後高田 田染小学校 PTA から PTCA に移行しなければ成り立たない	現在は、任意であるという旨をはっきり明示していない。(8割がた移住者) PTA の活動内容(地域とのふれあいや伝統行事の慣行)を移住環境のメリットとして促進活動を行っている。 今後は検討の余地あり
⑦組織、役員選出に関する話題	コロナ禍を経て、規模を縮小したり組織そのものの在り方を見直してはいるものの、任意であるがゆえに後継がみつからない。	行事を少し増やして、楽しい活動であると思ってもらえるよう、各校の活動を参考に組み組んでみたい 例えば、花火や七夕まつりなど  一般の会員には これが学校主体の行事なのか PTA主体の行事なのか 負担が学校なのかPTAなのか 不明なことも多い PTA活動の可視化を図る  バンド というアプリが使いやすい

第 17 回全単 P 会長研修会 グループ討議 記録用紙

グループ番号 ( 6 ) 会場 ( 201 号室前)

司会者名 (日浦 沙樹) 記録者 (水江 泰彦) 参加人数 (5 名)

討議テーマ	単 P での悩み・困り、喫緊の課題	改善策 意見交換の内容等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員の決め方</li>   <li>・ PTA 会長は、何ができるのか?</li>   <li>・ 何か問題が起きた時に学校から相談があるか?</li>   <li>・ PTA 会員と見なすのは?</li>   <li>・ PTA 活動はどんな事をしているのか?</li>   <li>・ 問題のある児童に対しての対応。</li> </ul>	<p>役員の選出方法</p>	<p>会長の一本釣り。 役員をくじで決めている。</p> <p>なぜ、選出したか理由を聞かれることがある。 選出推薦を明確にしている。</p> <p>退会者が年々増えている。その中で会長はどう考えているのかと質問がくるが会長も PTA の会員ということを忘れてほしくないと思う時がある。</p> <p>学校の問題等を相談されることがあるがどうしていいか分からない。</p> <p>会費を納入したら会員とみなす。</p> <p>学校行事のサポートをボランティアで参加者を募り活動している。 地域住民の方々に協力を依頼し活動している。</p>

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 7 ) 会場 ( 201 )  
 司会者名 ( 高山和也 ) 記録者名 ( 狩生寿之 )

参加者数 ( 6名 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
<p>① 各自紹介</p> <p>・会員数減少と役員選定問題</p>	<p>○ 村塾 高山</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>くしハ橋小 梅木                     <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の取り組み</li> <li>地域のと連携</li> </ul> </li> <li>大分所屬小 池田                     <ul style="list-style-type: none"> <li>役員・負担の軽減</li> </ul> </li> <li>佐小                     <ul style="list-style-type: none"> <li>狩生・この後の活動再会</li> <li>・ホラニアP活動</li> </ul> </li> <li>寒田小 西島                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の整理</li> <li>・学校の老齢化の問題</li> <li>・採択にたいし</li> <li>・異子あり・あいち活動</li> </ul> </li> <li>石垣小 兵部                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりのある子と育て子</li> <li>・役員負担の少ない子の問題</li> <li>・あいち運動</li> </ul> </li> <li>寒田                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式の時加入の件とバシバシ</li> <li>・不情報等と色々とあつた</li> <li>・未加入の流れは今のままではよくない</li> <li>・キッズ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・一旦加入して未加入者は返却する</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>附属                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で明の時にPTA活動がバシバシ</li> <li>・である事を伝える。→100%</li> <li>・事務局の専任がPTAが違ふ。</li> <li>・メールの使い方が違ふ。</li> </ul> </li> </ul>	<p>○</p> <p>→大分市でも学校とPTA活動の事務局等が、2016年くらいから</p> <p>ハ橋→現か決まり、2017</p> <p>・学校とよく環境にあつて役員選定する問題が違ふ。</p> <p>別府→外国人の両親の時問題もあつて活動相違→あつた</p> <p>支援学校の両親についての役員</p> <p>寒田→あえてやめたいのとあつた、PTAのあり方を変えていく。</p> <p>PTAの存在意義を明確にし必要性をとく。</p>

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 11 ) 会場 (201 研修室後)

司会者名 (衛藤 崇志) 記録者名 (中村 美作)

参加者数 ( 6 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
<p>① 学校、地域との かかわり方</p>	<p>○ 学校の協力 保護者の協力 ) について困っている。</p>	<p>○ 学校がむずかしいなら地域に話してみる。OB・OGを呼びこむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 一人ずつかかえおし 周りに振り分ける</li> <li>- "ママくらぶ" をつくってみる。</li> <li>- 50代・60代がいない分、地域の古いやり方をしほい 40代のグループを作って、将来、地域を引っ張る 保護者の集まりができれば良いと思う。</li> <li>- 教育委員会に行く</li> <li>- たくさんの保護者と話をあそ。</li> <li>- 見た目を強そうにする。話しやすいと大変。</li> <li>- もう少し強く出さ良。会長はたから。</li> <li>- 自分が手伝うことができる事は、OB OGは同じ気持ちで待っているのて、しゃんしゃんおかわいしても良。</li> </ul>

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 14 ) 会 場 ( 202会議室 )

司会者名 ( 後藤 禎範 ) 記録者名 ( 那賀 照晶 )

参加者数 ( 6 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
① P T A加入問題	<p>○宇佐市八幡小は全員加入している。役員は推薦制だが、だんだんなり手が少なくなっている。単Pだけでなく市P県Pなど全体に負担軽減を図っていくべきではないかと思う。</p> <p>○大分市明野西小は会員は8割程度だが、非加入者が会員の足を引っ張りつつある。これらを防止するための活動をしているため本来の活動ができにくくなる。</p> <p>○佐伯市直川小学校は人数が少なくなって複式学級が2学年となって兄妹関係からもP T A会員が少ない。今年度の1年生も2名が加入しない。</p> <p>○大分市小佐井小学校では、会員は8割程度だが、近隣の学校ではどんどん会員が減少している。近い将来自校もそうなるであろうと危惧している。また執行部の役員のなり手がいなくて困っている。</p> <p>○大分市戸次小学校では、コロナ禍に活動の見直しをして、必要な活動のみをしていて、ボランティア性にしてほぼ100%の入会となっている。</p>	<p>○戸次小学校役員の役員はどうやって決めていますか？</p> <p>○戸次小学校では、クラスで決める役員はなく執行部を計画係と名称変更して、ここですべての活動の補助をしています。計画係は推薦と昨年より立候補制を導入して、現計画係の友人などが入りやすくしている。</p> <p>○入会について、由布市庄内中学校では入学時に説明して、入会届をとっているが保護者それぞれの事情により負担があるので、会員は50%程度となってしまっている。小学校から入っていないところは入らない方が多い。</p>

○考え方によるが、負担になるからPTAに参加しないというにではなく、個人の負担軽減を学校や地域に要望をするためにPTAに加入して活用していただいてはどうかと思う。また市P連は市の教育委員会、県P連は県教育庁と話す機会があるのでこれを利用してはどうか。私たちの要望はPTAとしてそれぞれと協議してその結果をフィードバックすれば、会員さんたちも納得すると思う。

○PTA会費については、皆さん5,000円程度だがこの金額が多きいのではないと感じる。お金の問題ではなく、PTAに入ることにより何かをやらされる感覚が問題ではないか。

○やることは減らして、少しのお手伝いにしたが、それでも入りたくない人が結構いる。

○コロナが終息したため、地域行事が活性化し動員が増え、これが負担になっている。

○動員を断れない。

○動員を断ると、登下校見守りしないと脅される。

○地域との繋がりを壊さないように、現在の状況を分かってもらおう。

○執行部が地域と関わっているので、執行部のなりてがいなくなってきた。

○執行部を立候補制にしているが、なかなか立候補しないので、自分の知人に声をかけていく。

○PTAのやっていることは社会にとってはとても良いことなので、理解は得られていると思う、人のために活動したい人は潜在的に多いと思うので、ここをくすぐって役員になってもらう。

○やらされる活動は負担、自分たちで考えてやる活動は楽しいのではないか。

○保護者が必要のない活動については見直せばよいと思う。

○子どもたちのためになる活動を考える。

○子どもの登下校見守り活動は大事だが、地域の方々も高齢化して、していただける

<p>② 学校や地域との関係</p> <p>③ 部活動について</p> <p>④ その他</p>	<p>○プール使用</p>	<p>方が減っている。</p> <p>○交通指導などをPTAの会員だけでやっていると回らなくなっていく、このことが子どもたちの安全を脅かしているということが、非会員にわかっていない。</p> <p>○PTAの会員非会員無関係に子どもたちのためにやっている活動が、非会員の保護者に伝わっていない。</p> <p>○プールを借りているところはほとんど無いと思う、事故があった場合に監視の保護者の責任になると良くない。</p> <p>○地域のPTAOB会が草刈り活動などを応援してくれている。</p> <p>○小学校なので、よくわからないが、クラブチームに入って一所懸命やっている方と、その他の子どもたちの部活動があり、部活動の意味が良く分からない。昔は、よく怒られていたが、今は叱れる先生が少ないように思う。</p> <p>○子どもたちにしっかり叱れる先生が良いと思う。</p> <p>○非会員の外部団体からPTA内部や学校に圧力をかけられる。</p> <p>○会長はPTAに入りたくない方の話を聞くことは大事だと思う。</p> <p>○あまり決まりに拘らずに肝要に対応できる会にしておくことが大事ではないか。</p> <p>○県P大会について、企画・運営・動員が非常に大変なので、今後の開催などを見直してはどうか？単P会長のなりてが少ない中、これらの会への参加が負担になっている方も多いと思う。今後このようなものの負担に感じるために市P連から脱退する単Pが出てくる可能性があると思う。1つ脱退すれば芋ずる式に脱退が増え、市P連自体の運営が難しくなってくるのではないかと。</p>
--	---------------	--

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 15 ) 会場 ( 夕目的ホール )

司会者名 ( 麻生昌大 ) 記録者名 ( 衛藤 竜鶴 )

参加者数 ( 5 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
<p>① PTA活動の在り方</p>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ PTAで何をしたらいいのかわからない。</li> <li>○ 1年-11月-12月。</li> <li>○ PTAの事務も教職員の方がしているのは何ですか。</li> <li>○ PTAには参加してくれてるけど楽しそうではないのでどうしたらよいか</li> </ul>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活重カをしていくうえで、いままでやってきた事だからとかではなく自分達がやりたい事(新しい事)をやったらいいのでは。</li> <li>○ PTAの参加率をあげるために親が楽しいと思える事をやったらいいのでは。</li> </ul>
<p>② 会員数(生徒数)の減少</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな場所でPTAとはどういう活動をしていると説明している</li> <li>○ 加入届もとってしまうとPTA参加率が下がってしまうのでとっていい</li> <li>○ 地域の方からあいつをはい保護者いないので、生徒のためにもするようにしてほしい</li> </ul>
<p>③ PTA会費について</p>	<p>○ ガー、空き缶回収などがなくなって、収益が落ちたのでPTA会費を値上げしないといけない</p>	<p>○ 地域の方をまきこんで、米作り、空き缶回収などをしてみればどうだろうか。</p>

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号（ 16 ） 会 場（ 多目的 ）

司会者名（ 清松 豪 ） 記録者名（ 内川 大地 ） 参加者数（ 6名 ） ※記録は簡条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
① 役員選考	○会長選考に苦慮 会長が次の会長を指名	○選考委員のメンバーを決める。 会長は挨拶が多いため受けてくれる人がいない。
② 給食問題	○無償化について 給食調理場	○ふるさと納税を利用して無償化した。 無償化について市P連と市議員がお願いに行った。 無償化をするときにアンケートをとっていた。
③ バザー等について	○出店をし、PTA予算を稼いでいた。	○出店することによりPTAのつながりができた。

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 17-28 ) 会 場 ( )

司会者名 ( 本田 ) 記録者名 ( 染矢 )

参加者数 ( 7 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
<p>①</p> <p>加入促進</p>          <p>PTAとして何ができるか。</p>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の決め方。</li> <li>・率からの負担を学校にするところもある。</li> <li>・PTA会員の未加入問題について(特に中学校)</li> <li>・PTA活動における教職員の参加。</li> <li>・教職員とのコミュニケーション</li> </ul> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の人権などの活動についてPTA会員が減る中であうかしくなっている。</li> <li>・イベント、花菊活動、つくし、菊を地域にくぐる</li> <li>・入学式、卒業式などへのはえスポット。</li> <li>・遊覧中。</li> <li>・水鏡、ぼう大会</li> </ul>	<p>○</p>

第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録

グループ番号 ( 19 ) 会場 (多目的ホール)

司会者名 ( 亀井 完 ) 記録者名 ( 高盛礼子 ) 参加者数 ( 5 )

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
自己紹介より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数少ない、増えない→PTA会員数が増えない</li> <li>・任意加入について丁寧な説明ができなかったため、加入率が低下</li> <li>・教職員の協力を得られない「学校のみんなで何ができるか」に注力したい</li> <li>・教職員とも保護者とも繋がれない</li> <li>・PTAに対する負のイメージが強い</li> <li>・加入率は高いが保護者が“やらされている感”を感じている</li> <li>・児童数減少、学校を存続させるために地域活性を考えているところ</li> <li>・会議を減らす工夫により行事がへったが本当に良かったのか</li> <li>・教頭がPTA活動に協力的ですべてしてくれるので、逆に役員に話が来ないことがある</li> <li>・専門部が集まる負担を軽減するためLINE等で話すため、役員・学校が内容を知らないことがある</li> </ul>	
学校とPTAの関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教頭が事務局、協力的 (3/5校)</li> <li>・役員会の回数が増えることを教頭が嫌がる</li> <li>・専門部はないがひとり一役をアプリで募集して活動 (読み聞かせ等)</li> <li>・今年度より専門部を廃止しひとり一役に→責任感を持って活動してくれている</li> <li>・PTA年間計画で行事がすべて土曜日にあてられていた。計画段階で話して欲しい、不信感</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会の回数、頻度は？</li> <li>◇17:30～ 30分程度 月2回</li> <li>◇年3回</li> <li>◇必要あれば招集、日曜午前</li> <li>◇LINEを利用</li> <li>☆教職員がPTAの会員である意識を持って活動する、PTA活動に巻き込むにはどうすればよいか</li> <li>・組織的に教職員間の問題があるように感じる</li> <li>・個人的に先生にアプローチする</li> </ul>

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美化作業に参加しない教職員</li> <li>・「夏祭り」について <ul style="list-style-type: none"> <li>◇教職員の参加率高い</li> <li>◇地域振興会主催のため、PTAは協力するかたち</li> <li>◇教職員の参加なし <ul style="list-style-type: none"> <li>→地域差が顕著</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>がなかなか難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職に話ができていないと思われることがある（校長からは「聞いていない」と言われる）</li> <li>・小規模校なので言えば動いてくれる</li> <li>・変えようとする拒否反応を示す人がいる</li> <li>・対立したいわけではない、保護者と一緒に手を取り合って活動してほしい</li> <li>●教職員の関わりが薄れるとPTAは弱体化する</li> <li>・小学校では子どもの思い出などのためにもPTA活動は必要だと思う</li> <li>・「PTA活動は負担？」先生と集まって話す場があれば…</li> </ul> <p>先生たちに負担をかけたいわけではないが、子どもたちのために活動に参加してもらいたい</p>

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号（ 20 ） 会 場（ 多目的ホール ）

司会者名（ 甲斐康浩 ） 記録者名（ 馬場亮次 ） 参加者数（ 7 ） ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
①PTA 役員の選出について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○役員選考委員の選任問題</li> <li>○会員減少による人材不足</li> <li>○同役員の長期任期の負担</li> <li>○男女の格差問題</li> <li>○活動実態のない母親部の選出</li> <li>○事務局となる教職員への負担</li> <li>○地域との繋がり薄さ</li> <li>○働き方改革により学校の協力と理解が得られず様々なPTA活動の減少につながる。</li> <li>○行政関係との関わりに温度差</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PTA 活動の説明や必要性を今一度しっかりと行っていく（具体案はない）</li> <li>○現時点での会員とのコミュニケーションを深めていく。</li> <li>○役員逃れの風習の排除に努める</li> <li>○PTA 役員になるメリットを見つけるしかない。</li> <li>○選考委員に任命責任感を持ってもらう</li> <li>○前任からの引継ぎに期待したい</li> <li>○就任1～2年のPTA 会長は経験や知識に乏しいので気軽に相談しあえる仲間が欲しい</li> </ul>

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 21 ) 会 場 ( 多目的ホール )

司会者名 ( 樋口 晋典 ) 記録者名 ( 甲斐 みどり )

参加者数 ( 5 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
① 加入未加入問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未加入が増えてきている</li> <li>○加入が減ると収入が減り運営が厳しくなる</li> <li>○加入未加入会員の差のつけ方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親が楽しんで活動し、横のつながりを作って退会を阻止する。ミニバレーは参加者が偏りがちなので誰でも出来て楽しめるものにする。(逃走中・冒険王・フラバーなど)</li> <li>○PTA活動を見てわかりやすいDVDを作り、入学説明会で流して活動を伝える。</li> <li>○郡市P・単P同士の繋がりをもっと作り、情報交換をし、お互いの良い活動などを取り入れていく。 (県Pへの要望⇒PTAの情報交換ができるツールを作ってほしい)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供の問題から保護者同士がこじれて転校してしまう</li> <li>○PTAに入会しても子供会には入りたくない</li> <li>○PTCA 子供がいなくても準会員で自治会から会費を集める</li> </ul>	

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 22 ) 会場 ( 多目的ホール )  
 司会者名 ( 西山 公治 ) 記録者名 ( 土谷 香代子 ) 参加者数 ( 5名 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
① 役員決めについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○統合を次年度に控え、それぞれの学校によって選出方法が異なる</li>   <li>○子ども役員と学校役員とがあり、ややこしくなっている</li>   <li>○子どもにかかわることは積極的だが、会議等は消極的になる傾向</li>   <li>○児童数が少なく、決めづらい</li> <li>○特任校であり、複数の地区から児童が集まり、地区との連携がとりづらい</li>   <li>○選考委員が大変</li>   <li>○5年時の役員が6年時の会長をするという慣習があり、スムーズではあるが、5年生になるときの選出が多少困難。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学校の組織ごとに良いところを「見える化」してはどうだろうか</li> <li>○大きな学校の方に吸収されるという考えになると、おもしろくなるかもしれないので、そうならないよう努力が必要なのは</li>   <li>○複雑でわかりにくいところ（活動内容・地域等）を図式に表して整理したら、うまくいった</li> <li>○子ども会と学校が連携できるという側面もある</li>   <li>○少人数だからこその結束力もある</li> <li>○デメリットばかりが伝わりがちだが、メリットを前面に出し、こんな楽しいこともやっていると周知してはどうか</li> <li>○役割分担の「見える化」によって、役員を受けることを嫌う人がいなくなった</li>   <li>○経験のある人が顧問として残り、1～2年かけて、会則・組織をつくることも思案している</li>   <li>○役員になると、地域・行政への発言や意見交換の機会を得られる、達成感が得られる等の、良いことの方を前面に出していきたい</li> </ul>

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 23 ) 会 場 ( 多目的ホール )

司会者名 ( 二木 ) 記録者名 ( 原野 ) 参加者数 ( 6 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
①PTA 活動の参加率を上げるためには	<p>○児童が増えてきて PTA 会員も増え PTA 活動の参加率もまずまず。県 P には所属したくないという会員がいて相談を受けている(豊川小)</p> <p>○保護者のつながりが薄く、活動に参加しない方が役員改選で苦労している。(光岡小)</p> <p>○全世帯が PTA に加入しているが参加者に偏りがあり不満に感じている保護者がいる。参加しやすい雰囲気をつくるにはどうすれば良いか(河内小)</p>	<p>○川登小は全世帯 13 世帯なので会員のつながりも地域とのつながりも強く参加率はとても高い。</p> <p>○吉野小は会員数 100 人程度であるが、参加率も高く役員のなり手も多い。</p> <p>○不必要な活動の整理が必要だと思う。</p> <p>○参加しやすいイベントの提供</p> <p>①花火大会(吉野小)</p> <p>②周年記念 屋台村(南小)</p> <p>③親子遠足(河内小)</p> <p>④親子体力測定(川登小)</p> <p>⑤わくわくキッズ広場(豊川小)</p> <p>○会長が任意参加である事を強調して、参加できない方のプレッシャーを下げる。</p> <p>○会議時間を 夜開催から昼間開催にした結果、参加率が上がった。</p>
②PTA 会長への相談事	<p>○市 P、県 P の行事には参加したくないとか、送迎に伴う地域とのトラブルの相談を受けるが、どうすれば良いか?(豊川小)</p> <p>○情緒不安定な子がいるクラスの保護者から相談を受ける(吉野小)</p>	<p>○会長の手引き にも書かれてある通り、一方の相手に同調したりするのは良くない。双方に事情があるので良く話を聞いて校長と解決策を考えた方が良い。</p>

第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 24 ) 会場 ( ホール )  
 司会者名 ( 永田 ) 記録者名 ( 林 )

参加者数 ( 4名 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
<p>① 不登校の子供について。</p>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦言葉の使いえ(相手を傷付けないよう考える)</li> <li>◦学校側への情報共有</li> <li>◦朝のあいさつ運動の取り組みえ。</li> </ul>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦制服が変わったのが良かった。</li> <li>◦校長先生への情報共有する。(先生への)</li> <li>◦あいさつの存在、見守りえ。</li> </ul>
<p>② いじめについて</p>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦学校の設備(スロープ等)(障害のある子供に対して)</li> </ul>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦人へのつらさ、ヨロのつらさを大々にする</li> </ul>
<p>③ PTAの役員選出について</p>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦子供の少ない地域は、親同士のつらさの解消</li> <li>◦2年1期から変えた</li> <li>◦インスタグラムを使う。</li> </ul>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦名称を変更した。(役員会に)</li> </ul>

第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 25G ) 会場 ( 多目的ホール )

司会者名 ( 別府 平岡 ) 記録者名 ( 佐伯 稔田 )

参加者数 ( 5 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
<p>① 最近のPTA役員の変化傾向.</p> <p>② PTA加入問題について.</p>	<p>○ 女生のPTA会長が増えてきている。</p> <p>(城南) 中学 90%加入. 小学 60~70%加入 (小4から下がっている). ・入学届の紙を出している. ・学年が下がるにつれ参加率悪い.</p> <p>(豊後高田) 100%加入. ・任意のパートをできるで下がる可能性ありと見込。入学説明会で会長が説明している。</p> <p>(宇佐) 中学 100%加入. (入学説明会で会長が説明) 小学 4つの学校のうち3名のみ加入。務任の方が初め. 地域の中的交流ユニットも案内をすべてしている。会長が対応に苦慮している。</p> <p>(佐伯) 加入率100%地域を支援して「PTA」のPRを。3校も支援</p> <p>(別府) 会長会をいっしょにしている。その中で課題が①人口減少問題、②加入の問題、③規約の見直しがある。 二三年間議論を続けたい。</p>	<p>○</p> <p>・別府市、昨年、大分市のおを呼んで学習している。県内でもこの課題について温度差あり。大分市も様々。</p> <p>規約：「任意」という文が入っている。 市連の中で話し合いはあがる。 務任の人が単Pには入るが県Pに入らないという人がいる。単P単位でいるおのび。 県P加入拒否は：個人で加入未加入の判断はできる。 県P負担金を支払うことになる？</p> <p>→ 市連の中では議論している。</p> <p>「入会届」 規約を見直さず「退会届」を入れるかどうか議論。100%加入しているのに七割。そのリスクを背負わなければならぬよという意見あり。 「退会届」を出す学校が何校か出ている地域はあり。(豊後) 入会届をせるのは、難しい。未加入届をどう処理するか検討している。 PTAの活動を保護者に任せてみる。</p>

<PTAに入りたがる理由>

- ・出費に比べてよい。
- ・専門家の出でよくなる。
- ・PTAに対してマイナスの意見を持っている人がいる。参加するけど活動に対して(嫌悪感あり)。

第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 25G ) 会 場 ( 多目的ホール )

司会者名 ( 平岡 ) 記録者名 ( 梅田 )

参加者数 ( 5 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
<p>③ 専門部活動 について。</p>	<p>(豊後高田)：研修、保健、広報。 (宇佐)：人数が少ないので、全部 研修、保健、広報。 (城南)：学年主任、広報、研修 等の4つの専門部がある。 ・母数が (別府)：各学校の課題と 専門部の追加や活動の 課題。 ・専門部の簡素化を →ボランティア制 ・できるだけ小中の足並いを そろえていきたい。 (県) 未加入届を全体にヒトシ。 及ぶ加入率が下がった。→ (佐伯)：小規模校⇒皆んな 校況が異なるので、意見を言 う。</p>	<p>○、それほど反響はなし。 小学校では、保護者も活動ができて いたが、中学校は、役割が偏り、 負担を生じている状態。 ・地区代表人⇒多岐がこなせる 地区が出てくるので、組織偏成を 考えたい。 ・専門部を全部ボランティア制に する。中学校は、ボランティア制。 PTAのリーダーを下げるだけ。 活動の質を落とさない。 ・参加しやすい環境づくり。 ・現年の見直しが必要。 ・中学校、専門部の見直しが必要。 ・小学校は進めたい。 →単Pのやり、話し合いを促す こと。 →では、(佐伯)のグループの 中心小規模校同志のグループの て行、ほしい。大規模校の 情報共有を促す、1つ1つ うく。話を深めることがしたい。 2020年、今後の活動にむけては 来年度以降のGWの持ち方を検討 したい。</p>

第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 25G ) 会場 ( 194目のホール )  
 司会者名 ( 伊藤 ) 記録者名 ( 横田 ) 参加者数 ( 5 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
<p>① PTA会としての振興費をどうするか。</p> <p>PTAの事務は誰がしめるか。</p>	<p>○ (別府) わかると。</p> <p>(木分・豊後高田・宇佐) 一緒にする。</p> <p>大分: PTA専任事務として雇員 90万/年</p> <p>別府: 給食費が兼務 1人/月 20万/年</p> <p>宇佐・高田: 教員が行ってかえる。</p>	<p>○ (別府): 振興費がPTA会として使われる。</p> <p>別々にしてあげ、内容が明確にしたい。</p> <p>用途がわかる。</p> <p>PTAに入らなくとも大きなグッズを受け付けておく。</p> <p>大分: PTAの事務としてせよと。</p> <p>別府: 給食 → 最低賃金</p> <p>→ 事務員の雇用にわかる経費も負担。</p> <p>本府: 教職員は事務にわかればいける。</p>
<p>② 不登校児童の増加 PTA活動はどうするか。</p>	<p>不登校 (別府) (校 450人中 50人)</p> <p>(宇佐) せせらぎ教室</p> <p>→ 不登校児童が通学で遅れ、出席報告に困る。</p> <p>(木分) クラス12 17人 35人位</p> <p>17人に20人が不登校</p> <p>(佐伯) 1人いるが、PTA活動に参加し、会費を出している。</p> <p>(別府) 30名いるが出席していない。</p>	<p>不登校 ⇒ PTAの退会ではなく「休会」にする時にして、特別措置。</p> <p>長期療養 ⇒ 「休会」扱いにする。</p> <p>PTA会費も延びて報告し難い状態にする。 ⇒ 今年度見直し</p> <p>⇒ 会費に出ている人はもちろん。</p> <p>* 不登校の児童の転入あり? 小中学校ともに受け入れて</p> <p>本府: 小規模 特殊校のモデルにしようとする。 ⇒ 大規模の環境に合わせようとする。</p>
<p>③ 保母者同志の交流のあり方。 3人2人のあり方。</p>	<p>(別府) 不登校見ようをわかせる</p> <p>保母者 報告書、呼びかけ</p> <p>4人1. 話し合う場を設けている</p>	<p>→ 会にPTA会長に参加して欲しい</p> <p>→ PTAの活動のあり方について取り決めていく。</p>

(宇佐・高田) 新たな会を立ち上げたいので、保母者が情報交換の場があることも必要かとか。

→ 加入届を出した会員と打ち合わせる。会費を納入してもらっている。

## 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 25G ) 会場 ( 多目的ホール )

司会者名 ( ) 記録者名 ( ) 参加者数 ( ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
① 保護者同志の コミュニティの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者が色々おしゃべりに出あ こえり。たくさんのお情報を得る こえり。進路各々</li> <li>・(大分) ほかほか、そういう場を設ける こえり。</li> <li>(別府) 爺見日に参加する保護者 いす。中学校は特に参加 す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 普段の生活の中で。ひきこる。</li> </ul>

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号（26） 会 場（大分市教育委員会 多目的ホール）

司会者名（山香中PTA 田畑会長）記録者名（滝尾中PTA 高野） 参加者数（4）※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
① 部活動について	<p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 郡部の中学校では、団体種目(野球、サッカー等)の部活動の場合、人数が集まりにくく、対応として近隣の複数の中学校でチームを構成し、練習や、大会に参加している。</li> <li>✓ 各中学校で部活動の活動時間や、テスト期間等が違うため、練習に支障をきたす時がある。</li> <li>✓ 練習場所への距離がある為、保護者の送迎が必要になる。</li> <li>✓ 少子化により、生徒数が少なく、部活動の継続が難しい部がある。</li> </ul>	<p>【今後の対応として】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市町村や学校に部活動の活動時間や、テスト期間をなるべく統一が図られるよう、願います。</li> <li>✓ 生徒が活躍できる場所を案内できるようにする(スポーツチームの紹介等)。</li> </ul>
② 加入者数について	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市内学校ではPTAに加入する世帯が減少している(役員負担等)。</li> <li>✓ PTA会費の減少に伴い、財源が減少している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 役員負担が大きいことから、ボランティアで運営・行事を行う。</li> <li>✓ 学校とPTAで、収益に貢献する活動ができると良い(学校、生徒、保護者が連携した製品を作ったり、売ったりする。もちろん社会教育の範囲内で)。</li> </ul>

# 第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 27 ) 会 場 (多目的ホール)

司会者名 (原 美津枝) 記録者名 (川野 友大)

参加者数 ( 4 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
① 学校との関わり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校長先生で方針が変わる</li> <li>○ 先生との連絡方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>↳ 直接対面でやりとり、お互いに負担になっているのでは?</li> </ul> </li> <li>○ 先生との関係性が大事、気軽に話せる、コミュニケーションが重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 統一できたらやり易い。</li> <li>○ 連絡は文書やLINEなどでいいのでは?</li> <li>○ テレ(アプリ)を先生も加えてもらい連絡をとっている。</li> <li>○ 輪番制にしてみよう。</li> <li>○ 結局、知り合いから知り合いになる。</li> </ul>
② 役員選出について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会長が決まらずいままなりPTA会長になる場合も。</li> <li>○ 出ることが多い。役に頼みが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10年がすぎれば、任期が終わるので改革が迫らない。永遠の課題では?</li> <li>○ コロナで見直しを図らねば、戻りかねる。</li> <li>○ 特に会長は大変。</li> </ul>
③ PTA主体の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月あいつ運動。</li> <li>○ 体育祭に親子競技で参加。               <ul style="list-style-type: none"> <li>↳ 一方で教育の一貫からPTAの参加が必要になるのでは?</li> </ul> </li> <li>○ 文化祭に参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ つなごう。</li> <li>○ リレー</li> <li>○ 親子カラオケ。</li> </ul>
④ PTAについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全員は自発的に参加してほしい。</li> <li>○ 予算が厳しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 難しく考えずに、もっと気軽に参加してほしい。参加者が固定されて。</li> <li>○ 加入がより前になると、(昔の感覚)の会費だけでも目かき。</li> <li>○ 活動の魅力を伝えよう。</li> <li>○ 事務局と学校に委託するのでは?</li> </ul>

第17回全単P会長研修会 グループ討議 記録用紙

送付先：メールにて大分県PTA連合会事務局へ

グループ番号 ( 29 ) 会場 ( 糸崎的ホール )

司会者名 ( 吉田 拓人 ) 記録者名 ( 斎藤 葉徳 )

参加者数 ( 4 ) ※記録は箇条書き

討議テーマ	単Pでの取組・困り・課題	質疑・意見交換の内容、改善策等
<p>①</p> <p>部活動の 地域移行 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校とPTAの関係</li> <li>○ 先生の働き方</li> <li>○ 学校との溝</li> <li>○ 活動</li> <li>○ 先生の負担 <del>減らす</del></li> <li>○ 活動が見えない</li> <li>○ 先生とクラスこん親会</li> <li>○ 部会動</li> <li>○ 子どもが少ない</li> <li>○ 部活動の場所の維持</li> <li>○ 保護者に情報意見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ PTA役員の引き継ぎ</li> <li>○ テーマの情報が多い どのように進んでいるのか</li> <li>○ <del>部</del>部活動をPTA主に 変える</li> <li>○ 退職された方 } つのる</li> <li>○ ボランティア }</li> <li>○ 部員減の中での維持 4-6スポーツ等</li> <li>○ 情報公開を求める</li> </ul>